

教育用素材・映像上映会のお知らせ

日時：2011年11月13日(日) 14:00-16:00

場所：JICA 横浜 海外移住資料館 ガイダンスホール(入場無料)

■上映作品：

“Stand Up For Justice”— *The Ralph Lazo Story* —

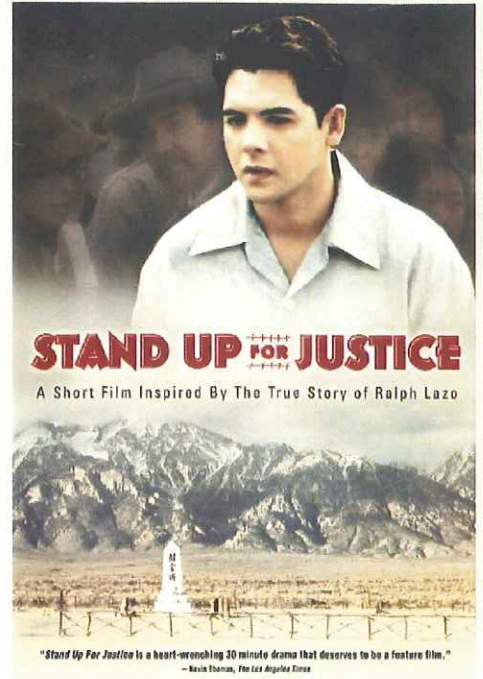
正義と友情のために日系強制収容所に入ったある若者の物語(上映時間:30分)

■作品概要

この作品は第二次世界大戦中のアメリカにおける日系人強制収容に対する補償を求めて1980年に設立されたNCCR(Nikkei for Civil Rights and Redress: 公民権と補償のための日系)が、第二次世界大戦中の日系人強制収容をテーマに制作した、実話にもとづく物語です。

主人公のラルフ・ラッゾ(1924-1992)は、メキシコ系アメリカ人で当時高校生。真珠湾攻撃後、日系であるという理由だけで親友とその家族は仕事を失い、家財をただ同然で処分し強制立ち退きを余儀なくされてしまいます。その理不尽さに憤ったラルフは、独断でマンザナー強制収容所行き列車に乗り込み、日系人とともに収容所に入りました。45年後、ラルフは高校生と共にマンザナー収容所跡地を再訪し、人種だけを理由に強制収容された歴史が事実だとは信じられない生徒達に、当時の様子を語ります。

たった一人の若者の行動が、民族と文化の壁を越えて、堅い友情と信頼を築いていく過程を、当時の記録映像(カラー)や写真も盛り込みながら、30分という短い時間に凝縮した作品です。(日本語字幕)



今回の上映会では、この映画の制作・普及活動に深く関わっているナガノご夫妻にお越しいただき、映画の企画制作にかけた想い、そして映像教材としての活用法をお話いただきます。(日英通訳有)

●話し手：スティーブ・ナガノ氏、パトリシア・ナガノ氏

スティーブさんはロサンゼルス生まれ。最初のカナダ移民といわれる永野万蔵の曾孫にあたる。長年、高校教師を務めるかたわら、公民権活動にも携わり、現在はNCCR理事を務める。奥様のパトリシアさんはパサデナ生まれ。夫スティーブさんと共にNCCR理事。Stand Up for Justiceの教師用マニュアルを作成。

●聞き手：糸井輝子(白百合女子大学 教授、当館学術委員)

●通訳：田嶋ティナ宏子(白百合女子大学 准教授)

◆お問い合わせ

〒231-0001

神奈川県横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 海外移住資料館

Tel: 045-663-3257 Fax: 045-211-1781

Web: <http://www.jomm.jp/> E-mail: info@jomm.jp

◆交通案内

■東急・みなとみらい線「馬車道」駅から徒歩 8 分

■JR・市営地下鉄「桜木町」駅、「関内」駅から徒歩 15 分

